

(※) 抗菌・消臭効果について…情報提供：株式会社伊藤園様

1. 試験方法

(抗菌試験)

「JIS L1902:2002 菌液吸収法」に従って茶殻紙 0.4g をオートクレーブで滅菌後、約 10^5 CFU/ml になるように 1/20 ニュートリエント培地で調製した菌液 0.2ml を不織布に接種し、37℃・18 時間で保存後、菌数を測定。
(消臭試験) ガスバック中に茶殻紙 0.5g およびガス 3L を注入し、2 時間後のガス濃度を検知管を用いて測定し下記の式により
減少率 (%) を換算。

2. 試験結果

(抗菌試験)

菌名	菌数 (CFU/mL) <100 : 検出せず			
	0 時間	18 時間後		
		標準白色布	茶殻無配合紙	茶殻紙
MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)	1.2×10^5	3.7×10^7	2.8×10^7	9.7×10^4
大腸菌	1.3×10^5	4.8×10^8	2.2×10^8	1.0×10^5
緑膿菌	1.0×10^5	4.2×10^8	2.5×10^8	<100
肺炎桿菌	1.1×10^5	2.9×10^8	2.2×10^8	1.6×10^5
サルモネラ菌	1.0×10^5	1.9×10^8	4.8×10^7	8.9×10^3

(消臭試験) 減少率 (%) = { (コントロールガス濃度－試料ガス濃度) / コントロールガス濃度 } × 100

	減少率	
	酢酸	イソ吉草酸
茶殻無配合紙	46%	33%
茶殻紙	71%	56%